

授業科目名	児童文学論
科目番号	CB23121
単位数	2.0 単位
標準履修年次	2 年次
時間割	春AB秋AB木1
担当教員	甲斐 雄一郎
授業概要	受講生各自が選択した児童文学作品について、自ら設定した課題についての検討結果を報告し、参加者全員の討議を経たうえで論文をまとめる。
備考	西暦奇数年度開講。 対面
授業方法	講義
学位プログラム・コンピテンスとの関係	
授業の到達目標（学修成果）	受講生各自が選択した児童文学作品について、先行研究の検討や受講生相互の討議を経て論文としてまとめる。
授業計画	<p>研究発表に際しては受講生全員に対してコメントが求められる。</p> <p>第1回 既刊の『児童文学論集』に基づいて、児童文学論の枠組みと論点を確認する。</p> <p>第2回 同上</p> <p>第3回 同一作品の鑑賞に基づいて、各自が設定した論点を交流するとともに、討議する。</p> <p>第4回 同上</p> <p>第5回 受講生各自が選択した作品について、自ら設定した課題についての検討結果を発表し、参加者全員で検討する。</p> <p>第6回 同上</p> <p>第7回 同上</p> <p>第8回 同上</p> <p>第9回 同上</p> <p>第10回 同上</p> <p>第11回 同上</p> <p>第12回 同上</p> <p>第13回 同上</p> <p>第14回 同上</p> <p>第15回 同上</p> <p>第16回 同上</p> <p>第17回 同上</p> <p>第18回 同上</p> <p>第19回 同上</p> <p>第20回 討議をまとめ、今年度版『児童文学論集』の構成を決定する。</p>
成績評価方法	研究成果の発表、討議への参加(コメント執筆)、および『児童文学論集』への執筆
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	
教材・参考文献・配付資料等	
オフィスアワー等（連絡先含む）	

その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）	
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー（TF）・ティーチングアシスタント（TA）	
キーワード	おとな，こども，誘惑・抵抗，記憶・忘却，約束・嘘，等